

令和元年度 鬼怒中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

確かな学力，豊かな心，健やかな体の調和のとれた「生きる力」をはぐくむ。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

○ 気力あふれる生徒 ○ 創造性を伸ばす生徒 ○ 心の豊かな生徒 ○ 進んで仕事をする生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

(1) 目指す学校像

- 活気に満ちた明るく，楽しい学校
- 互いを認め合い，思いやりのある学校
- 保護者・地域から信頼される学校

(2) 目指す教師像

- 高い指導力と愛情をもって，生徒と向き合える教職員
- 生徒のよさを認め，伸ばす教職員
- 協調性に富み，責任感のある教職員

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

生徒を中心とした活気に満ちた明るく，楽しい学校づくりを目指し，全教職員が和と協力，熱意，人間尊重の精神を基盤に『生きる力』をはぐくむ教育に取り組むとともに，地域と連携・協力し特色ある学校経営を推進する。

- (1) 確かな学力の育成・・・新学習指導要領の求める主体的・対話的で，深い学びとなるように授業の工夫改善に努める。また，自ら学習する態度の育成を図るため家庭学習の適切なやり方及び学習時間の確保について指導していく。
- (2) 豊かな心の育成・・・生徒が活躍できる場の設定と異年齢集団活動及びボランティア活動の充実を図り，心豊かな生徒の育成に努める。
- (3) 安全指導の徹底と健康体力の増進・・・登下校の安全の徹底を図るとともに食育及び心身の健康に関する指導の充実を図る。
- (4) 特別支援教育の充実・・・全教職員の共通理解のもと，配慮が必要な生徒に対して組織体制を確立し，連携協力して指導する。
- (5) 小中一貫教育の推進・・・地域学校園の部会組織を見直すとともに，小中が抱える共通の課題を明確化し連携して解決を図る。また，児童・生徒の交流する機会を検討し実践していく。
- (6) 家庭・地域との連携強化・・・学校教育への理解を深めるため，家庭や地域に情報を積極的に発信するとともに，生徒の地域行事への参加を促す。
- (7) 教職員の健康安全管理と資質の向上・・・校務の効率化を意識し，組織的な対応を図る。また各自が課題を意識し，教育のプロとしての自負と責任をもちコンプライアンスを遵守する。さらには，学びあいの精神で授業力の向上を図る。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

～学習や学校行事等を通して，学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成～

4 教育課程編成の方針

- (1) 地域や施設設備，教員構成及び生徒の実態，発達段階や特性等を十分に配慮し編成する。
- (2) 基本的な「学び方」の習慣を身に付けさせるため，教科における学習指導はもとより，道徳や特別活動，総合的な学習の時間等で意図的・計画的に指導を行えるように編成する。
- (3) 好ましい人間関係の醸成，基本的なモラルや社会生活上のルール習得，他者と協力して，よりよい生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育成するため，道徳や特別活動を効果的に展開できるように編成する。
- (4) 他者に対する思いやりの心や，不正を絶対に許さないという心，さらには良いことを進んで行おうとする意欲を，全教育課程で育て，生徒自身の心に「いじめに対する抑止力」を付けさせる。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学校運営】・創意と調和のある教育課程の編成・実施するとともに学校課題の解決に努め，教職員が一致団結しての学年・学級経営にあたり，信頼される学校づくりを推進する。特に今年度は，教職員を組織化し「歯と口の健康指導」の研究への取組を通して，資質能力向上に努める。
- 【学習指導】○主体的に学ぶ生徒の育成に務め確実に基礎・基本的内容の定着に努める。また，日頃から積極的に対話的活動を展開し，深い学びに繋げる。
- 【児童生徒指導】○日常生活の中で優しい心を培うとともに集団生活を通して互いを認め合い，他者を思いやる態度の育成を図る。
- 【健康（体力・保健・食・安全）】○進んで運動に親しむ態度の育成と，安全で心身が健康な生活を送る態度の育成を図る。

6 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A1 生徒は，進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ◎生徒・教職員の肯定的回答 80%以上	①授業開始時の「本時のねらい」終了時の「振り返り」を行うことで，授業のねらいを明確にし，知識の定着を図れるよう効率のある家庭学習ができるよう学習方法をしめす。 ②自主学習ノートの指導を通して，家庭学習の習慣化を図る。 ③単元によっては話し合い活動を取り入れ，深い学びができるよう工夫する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約85%，教職員・保護者の肯定的回答が約80%以上であり，概ね達成できている。 【次年度の方針】 ① 授業における目標の設定と振り返りを行い，生徒の知識の定着を図る。 ② 自主学習ノートの提出を促し，家庭学習の定着を図る。 ③ 様々な言語活動を授業内に取り入れ，深い学びができるように工夫する。
	A2 生徒は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上	①考え，議論する道徳の授業の実践を通して，それを普段の学校生活と結びつけることで生徒の道徳力を向上させる。 ②朝の読書活動を行うことで，豊かな感性を育む機会の充実を図る。	A	【達成状況】 生徒の肯定的回答が88%と指標を大きく上回った。 【次年度の方針】 生徒の望ましい行いについて，広く情報を公開し周知を図る。

<p>A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「生徒指導上のきまり」に基づき、家庭や地域との連携を図りながらルールやマナーについて実践的に学ぶ機会を増やす。</p> <p>②教職員の共通理解、共通指導の充実を図る。各生徒会専門委員会の活動を活発化させ、生徒主体できまりの遵守やマナー向上の意識を高めさせる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が82%となり、昨年度より3.6%上昇した。</p> <p>【次年度の方針】 学校生活において、生徒に任せる部分を増やし、生徒による自治的活動を通して規範意識を養う。</p>
<p>A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①大きな声ではっきりとあいさつができるよう、登下校時や授業・部活動等で継続指導する。</p> <p>②生徒会主催の挨拶運動を計画的に実施し明るく元気にあいさつする習慣を身につけさせる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が93%と指標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 授業の始めと終わりのあいさつをどの授業においても徹底する。</p>
<p>A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①自分の個性や特性を理解し、自分の目指すべき目標をもたせ、その達成に向けてあきらめずに努力する力を育てる。</p> <p>②「宮・未来キャリア教育」の内容を元に、学級活動等の活動の振り返りを重視することを通して、生徒一人一人のさらなる自己理解を促す。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が86.6%と指標を大きく上回ったが、保護者の肯定的回答が74.4%、教職員の肯定的回答が62.8%で認識に開きが見られた。</p> <p>【次年度の方針】 ①自分の個性や特性を理解し、自分の目指すべき目標をもたせ、その達成に向けてあきらめずに努力する力を育てる。 ②「宮・未来キャリア教育」の内容を元に、キャリアパスポートを用いて行い、生徒一人一人のさらなる成長を促す。</p>
<p>A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒が自身の体力の現状を理解するとともに、保健体育の授業において、段階的な指導を工夫する。</p> <p>②登下校時の交通安全指導、緊急時の避難訓練、学校生活での事故防止等、生徒が自分の判断で行動できるように指導する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が93.5%と指標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 保健だよりに基づく健康・安全面の取組を、教科横断的に、また部活動等で生徒に実践させる。</p>
<p>A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①1年生での「職業について学ぶ」、2年生の「社会体験学習」、3年生の「自己の生き方について考える」を通して、自己のキャリア形成に必要な能力や態度の育成を図る</p> <p>②地域の祭りやボランティア活動に積極的に参加し、社会の一員である自覚を育成するとともに、社会貢献の態度の育成を図る。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が86.6%と指標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ①1年生での「職業について学ぶ」、2年生の「社会体験学習」、3年生の「自己の生き方について考える」を通して、自己のキャリア形成に必要な能力や態度の育成を図る ②奉仕活動、あいさつ運動、ボランティア活動等に積極的に参加し、社会の一員である自覚を育成するとともに、社会貢献の態度の育成を図る。</p>

<p>A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①英語の授業で、ウォームアップの際に既習の英語で生徒同士のコミュニケーションを図る</p> <p>②ALT との授業で、英語のみを使ったやりとりを行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が 79.9%とわずかだが指標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ①英語の授業で、ウォームアップの際に既習の英語で生徒同士のコミュニケーションを図る</p> <p>②日頃の英語の授業でも ALT との授業でも、英語のみを使ったやりとりの活動を取り入れる。</p> <p>③新出単語や表現を教える際にどんな場面で使われるものなのか具体的にしめす。</p>
<p>A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域のボランティア活動に参加することで、地域に住む人たちとの交流を深め、地域の歴史や文化を学ばせる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が 78.8%と指標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ①地域のボランティア活動に参加することで、地域に住む人たちとの交流を深め、地域の歴史や文化を学ばせる。</p> <p>②社会科における郷土史学習を通し、宇都宮市の歴史や文化を学ばせる。</p> <p>③学んだ過去の歴史や文化が、現代とどのように関わりがあるのかを示す。</p>
<p>A 10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①授業の中で、調べ学習や発表する場面等で、ICT 機器を活用する力を高める。</p> <p>②生徒の調べ学習などに対応できるよう図書を整理するとともに、図書の活用方法を指導する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が 62%と指標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ①授業の中で、調べ学習や発表する場面等で、ICT 機器を活用する力を高める。</p> <p>②生徒の調べ学習などに対応できるよう図書を整理するとともに、図書の活用方法を積極的に支援する。</p>
<p>A 11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①体育祭で高砂荘の高齢者を招き、一緒に活動する場面を設定する。</p> <p>②福祉委員会で高砂荘の行事に参加し、高齢者に対する感謝やいたわりの気持ちを高めさせる。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が 88%と指標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 高齢者とのふれあいで感じたことや得られたことを全体に周知する活動を設定する。</p>
<p>A 12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「持続可能な社会」という考え方を授業の中で理解させる。</p> <p>②総合的な学習の時間を活用し、地域や世界の学習素材を活かしながら、教科の枠を越えた横断的、総合的なカリキュラムの開発・実践を行う。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答が 66.2%と指標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ①教科（技術家庭科、社会科、保健体育科、理科）の中で「時速可能な社会」という考え方を理解させる。</p>

	<p>B1 生徒は、登下校の際、交通ルールやマナーを守っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒・保護者・地域住民・教職員の肯定的回答 75%以上</p>	<p>①交通マナーやルールの徹底に向けた指導を重点に行うとともに、生徒が主体的に交通規則を遵守できるよう指導内容や指導方法について見直し、共通した指導を行う。</p> <p>②危険箇所については、通学路の整備・見直しを実施し、保護者・地域からも行政に働きかけてもらう。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答が31.7%と指標を大きく下回った。保護者の肯定的回答は66.2%。生徒・地域住民の肯定的回答は80%を越えた。認識に開きが見られた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>ルールやマナーの具体的な指導を徹底すると共に、実技についても指導を行う。</p>
	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①教育相談部会において情報交換をしっかり行い、個別の支援計画を作成し具体的な支援を実践していく。</p> <p>②担任・SC・MS・教育相談担当が連携し、保護者との面接などを積極的に行う。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は93%であり、指針を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>かがやきルームや通常学級の生徒で支援が必要な生徒についても個別の支援計画を作成し具体的な支援を共有し実践していく。</p>
目 指	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校の取組について、家庭や地域に情報提供をするための方法を検討し、周知する。</p> <p>②生徒による人権意識の向上を図る活動を生徒とともに企画し、生徒主体の運営の支援を行う。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は92%であり、昨年度より2%低下したが指針を大きく上回った。教職員の肯定的回答は93%であり、昨年度より0.9%上昇した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>学校の取組について、家庭や地域に情報提供をするための方法を検討し、周知するよう努め、保護者の肯定的回答80%以上を目指す。</p>
す 学 校 の 姿	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒・教職員・保護者の肯定的回答 75%以上</p>	<p>①学級が依存集団になるように、挨拶や励ましなどコミュニケーションをとることで、生徒理解に努める。</p> <p>②スタンダードダイアリーを活用し、生徒の少しの変化を見逃さないように心がける。</p> <p>③家庭との連携を密にとり、問題発生時の初期対応を迅速に行い、早期解決を目指す。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は91.6%、教職員の肯定的回答は90.7%であり、大きく上回った。保護者の肯定的回答は76.7%であり、指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>生徒理解を生かし、日常の変化を気に留め、家庭との連絡を密にし、問題発生を防ぐとともに、初期対応が迅速に行える体制を整える。</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①該当生徒保護者と面談し、日本語ボランティアなどの関係機関と連携を図ったり、言語能力に合わせた教材作りを行う。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は93%であり、指針を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>日本語指導の支援が必要な生徒を見極め、保護者や関係機関と連携して支援策を練る。</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①目標やねらいを明確にした生徒主体の生徒会の活動を推進する。</p> <p>②活動時間の確保と教師による適切な支援の充実を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は80.7%であり、昨年度より6.6%低下したが指針を越えた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>教師の指導に基づいて、生徒の意見を実現させ企画運営を任せる活動を設定する。</p>

<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎生徒・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒の回答と実際の定着度に差異があるため、各学年、各教科で授業実践を通しての授業の技術の向上を図る。</p> <p>②ホームページや学習指導通信等を基に学校での取組や現状について体系的に情報公開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は87.5%であり、昨年度とほぼ横ばいである。保護者の肯定的回答は83.4%、地域住民の肯定的回答は92.3%であり、指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>① 全職員が、一人一授業の公開・授業研究会等を行い、授業実践を通しての授業力向上を図る。</p> <p>② ホームページに、学校での取組や現状について情報公開を行う。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①互いの職務・職責について学校運営規定を整理し職務・業務内容について理解を深め相互の連携を深めさせる努力をする。</p> <p>②学校業務嘱託員や機動班との連絡を図り、学校内の環境整備の充実を図る。</p> <p>③SCを活用し、教育相談及び生徒指導上の問題解決のためにケース会議時のコンサルテーションを行ってもらう。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は76.7%であり、昨年度より10.9%上昇したが指針を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>互いの職務・職責について学校運営規程を整理し、職務・業務内容について理解を深め相互の連携を深めさせるよう努める。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①文書の保管場所を明確にし、データの管理を行う。</p> <p>②部活動地域指導者等を有効活用することで、教員の業務削減を行う。</p> <p>③効率の良い会議を目指し、事前の資料配付や要点のみの発表など時間短縮を目指す。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は65.1%であり、昨年度より36.2%上昇したが指針を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>効率の良い会議を目指し、会議の精選を行うとともに、事前の資料配付や要点のみの発表など時間短縮を心がけた会議の運営に努める。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎保護者・地域住民・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域学校園として小学校と連携を図り、9年間の発達段階に応じたキャリア教育、学習指導、児童生徒指導の計画を修正・改善する。</p> <p>②学力向上、不登校対策、特別支援教育の充実に向けた連携、協働を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は81.4%であり、昨年度より2.8%低下したが指針を上回った。保護者の肯定的回答は82.3%、地域住民は91.7%であり、指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①地域学校園として小学校と連携を図り、9年間の発達段階に応じたキャリア教育、学習指導、生徒指導の計画を修正・改善する。</p> <p>②学力向上、不登校対策、特別支援教育の充実に向けた連携、協働を図る。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>◎教職員・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域コーディネーターと連携し、地域協議会の有効活用を推進する。</p> <p>②新4号国道のフラワーロードの整備を行う。</p> <p>③高齢者施設や地区内のお祭りなどへのボランティア活動を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は86%であり、昨年度より1.8%上昇した。保護者の肯定的回答は82.3%であり、指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>民生委員や主任児童員と連携し、生徒の活動を支援する。</p>

	<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ◎地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域団体と地域連携教員及びコーディネーター、PTAとの連携を深め、ともに連携した特色ある学校づくりが定着するよう努めていく。</p> <p>②生徒のボランティアの募集を計画的に行う。</p>	B	<p>【達成状況】 地域住民の肯定的回答は84%であり、昨年度より11.2%低下したが指針を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 宮っ子チャレンジウィーク、社会人先生に聞く、幼稚園実習等で、地域の教育力を活用する。</p>
	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①安全点検を確実にを行う。</p> <p>②学校施設利用簿の管理をきちんと行う。</p> <p>③学校業務嘱託員や機動班との連携を行い、学校内の環境整備を充実させる。</p>	B	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は87.1%、地域住民の肯定的回答は92.3%であり、指針を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 安全点検を確実にを行い、学校業務嘱託員や機動班との連携を密にし、速やかな処置・対応を心がける。</p>
	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答 75%以上</p>	<p>①授業で使えるように、ICT機器の適切な場所での保管を適切に行う。</p> <p>②図書選定委員会をおこない、豊富は蔵書数になるよう図書を整備する。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は58.1%であり、指針を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ①授業で使えるように、ICT機器の適切な場所での保管を適切に行う。 ②図書選定委員会をおこない、図書を整備する。</p>
本校の特色・課題等	<p>B2 生徒は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いている。</p> <p>【数値指標】 ◎教職員・生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てるとともに、教室の学習環境の整備に努める。</p> <p>②学業指導についても教職員での共通理解と共通指導の充実を図る。</p>	A	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は68.3%、生徒の肯定的回答は73%であり、指針を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ①話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てる。 ②授業に集中できる環境を整えるために、教室の学習環境の設備に努める。 ③学業指導についても教職員での共通理解と共通指導の充実を図る。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・27の質問項目で16項目が指針を上回った。
 - ・質問項目を生活面、学習面、健康安全面と大きく分類し数値を検討してみると、生活面に関するものは、ほとんどの項目で生徒の肯定的回答が指針を上回り、また市全体の平均値を上回っている。このことから、生徒が落ち着いた規律正しい生活を行い、充実した学校生活を送っていると考えられる。
 - ・学習面に関するものでは、生徒、教職員の肯定的回答が指針を下回っている項目がある。また、市全体の平均値より下回っている。本校課題である学力向上に向けて、家庭での学習習慣の定着や教職員の授業力向上などさらなる充実を図れるような研究や工夫を重ねる必要がある。
 - ・健康安全面に関するものでは、生徒は肯定的回答が指針を上回っているが、教職員、保護者、地域住民では指針が下回っている。これは、登下校中の自転車や自動車等を運転する側の安全に対する意識の差が出ていると思われる。交通法規の遵守を改めて生徒に理解できるよう指導していく。
- 小中一貫教育・地域学校園に関する項目については、教職員、保護者、地域住民の数値は指針を上回っている。鬼怒中学校園としての取組に対して、理解をいただいていると思われる。学校園での共通の課題である学力の向上に向けて、小中の連携を図った取組を継続していく。

7 学校関係者評価

- ・生徒も落ち着いており、学習にも熱心に取り組んでいる。
- ・特に部活動において、春季大会県総合・新人大会県総合4位という成績を収めたことは、生徒の努力はもちろんであるが保護者の協力・教員の指導力があってこそ達成できることである。
- ・地区内行事のボランティア活動において、生徒が積極的に活動してくれて大いに助かっている。奉仕の心の育成をさらに充実していただきたい。
- ・登下校の安全確保のために、道路拡張・自転車の待機場所の拡張・信号機の設置・歩道の整備等、地域協議会として県や市に要望をしていく。学校でも自転車の乗り方等、交通安全指導の徹底をお願いしたい。特に、自分の安全はもとより、歩行者（特に高齢者や児童など）に対する目配り・気配りができるような指導もお願いしたい。
- ・A14「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている」での評価で、教職員・生徒は市平均を上回っているが、保護者の評価が低い。ホームページ等を利用し、学校での取組を発信して保護者に理解・協力を求めていく必要がある。
- ・A21「学校は、小中一貫・地域学校園の取組を行っている」での評価では、教職員・保護者・地域住民から高い評価を得ているが、生徒の評価が低いことが気になる。本来小中一貫教育は生徒に係わるものであり生徒が体感できるような内容を行うことが必要である。
- ・A10「児童生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している」での評価では、教職員・保護者・生徒の評価が市平均より下回っている。授業や行事やその他の活動において、ICT機器の活用が増えるよう内容を検討する必要がある。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・本校が重点目標としている、学力向上、家庭学習の習慣化に関しては、少しずつであるが成果が現れている。さらに教職員の授業力向上など研修を行い、生徒の学習意欲を高めていくことが必要である。
 - ・自己肯定感や自己有用感を高めるために、教職員と生徒とのよりよい人間関係を醸成するとともに、学級経営や教育相談活動を充実させ、安心できる学校作りを目指し、不登校生徒が減少できるようにする。
 - ・登下校の安全確保に向けて、地域協議会の協力を得て通学路の修繕依頼や生徒の自転車マナーの指導の徹底をすることで、交通事故ゼロを目指す。
 - ・生徒のボランティア活動については、地域コーディネーターを十分に活用し、学校と地域の連携と調整を図っていく。
- 「小中一貫教育・地域学校園」に関する項目では、活動状況が見にくいため生徒の評価が低い。生徒の学習面や生活面に反映できる一貫教育の取組を小中で連携し9年間を見据えた指導内容や児童生徒活動を行い、鬼怒地域学校園の目標である「学習や学校行事等を通して、学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成」が実現できるようにしていく。